

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位	2
----	----	----	---------	----	---

1. 学習内容と目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な物事・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

2. 使用教材

科学と人間生活（東京書籍）

3. レポート

回数	内容
1	生命の科学（微生物とその利用）
2	生命の科学（ヒトの生命現象）
3	物質の科学（材料とその再利用）
4	物質の科学（衣料と食品）
5	光や熱の科学（光の性質とその利用）
6	光や熱の科学（熱の性質とその利用）

4. 学習の進め方について

レポートは、空欄がないように取り組みましょう。教科書を丁寧に読み、辞書や学習書を活用して解いてください。

5. 評価について

評価は、試験時間とレポート成績、実技、学習態度等を以下の観点のもとに総合して100点法で行い、30点以上を合格とします。

(1)自然と人間生活との関わりおよび科学技術と人間生活との関わりについて理解している。(知識・技能)

(2)観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現できる。(思考・判断・表現)

(3)自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりすることができる。

（主体的に学習に取り組む）

6. スクーリング